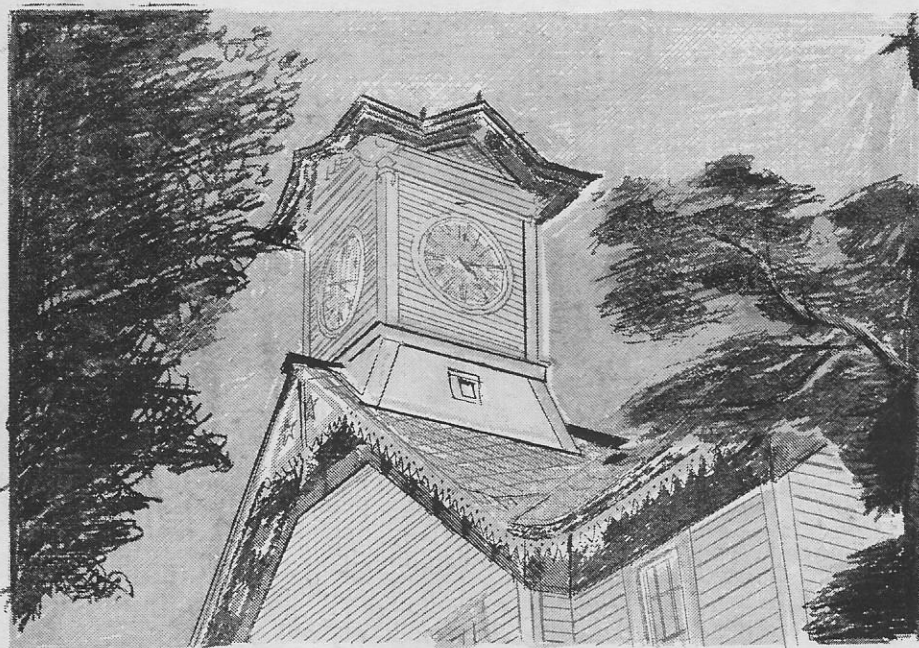


LEON- TODO

N-ro 13



1955

OKTOBRO

～ ENHAVO ～

再びリヒテンシュタインについて	桐生 育保	1 ^P
エスペラント寸考	西里 静彦	2
エーゴースラヴィヤの大学生から	早川 昇	4
ことばと文字	橋内 和男	6
煙 火 (四)	榎沢 治雄	8
S-ro R. FIOLET より D-ro Yamaga へ		21
エーゴースラヴィヤの少女との文通	アリクヨシハル	22
HEL 蔵書目録	北海道エスペラント連盟	27
オ 19 回北海道エスペラント大会報告		29
HEL 会員名簿・(住所変更)		
HEL 収支報告		33

再び

リヒテンシュタイン

について

サッポロ 桐 生育 保

1昨年(昭和)の5月、本誌 No.6 誌上に、リヒテンシュタインの事について書き、そのとき、「戦後のリヒテンシュタインの枚子を知りたいと思ひます」と結びましたが、その後、Sano ARIMA から HEROLDO DE ESPERANTO / Majo 1954 をお借りして、読んでいるうち、リヒテンシュタインの文字を見付け、なつかしさのあまり、以下のやうに意訳してみました：—

たいていの旅行者が、そうするやうに、私もフランスへの帰途、リヒテンシュタインを通過する機会を得て、このあまり世間に知られていない国で、1泊してみようと思ひつた。リヒテンシュタインはスイスとオーストリアの間にあつて、というより、正確には、スイス側の Buechs と Sargans の両市とオーストリアの FerdKirch 市に囲まれている。

リヒテンシュタインの人口は、14,000 で 11の町村に分れ住んでいる。首都は Vaduz で、此処には鉄道がなく、列車は北へ数キロの離れた所へ到着する。

リヒテンシュタインは、高い山々に囲まれ、西には 28キロに亘るライン河に沿つた国境線がある。スイス側との国境には税関はなく、貨へい及び郵税共に両国同率である。特に全世界の切手蒐集家に申し上げたいのは、この国では非常に美しい、そして大変高価な、独特な郵便切手を発行していることである。

オーストリア側の国境は、他の一般の国々のそれと変わりなく、取りたてて言うことはない。唯一の鉄道は、オーストリアによつて運転されている。この国の人達は、強いヒューマニテイをもつていて、税金は低率であり、且つ軍備は持っていない。また、現在保有している警察力は、この静かな国の法の権威を守るに充分である。この国の議会は、15人の議員を持ち、政府は、首相以下5名の閣僚で構成されている。

Vaduz の城は、この国の統治者、国王の住いである。私は Vaduz 滞在中に

国王の Esperanto に対する考へを打診してみた。国王は Esperanto の国際語としての、妥当性を確信していて、Esperantisto に次の言葉を賜わった。

“ Esperanto をひろめるためには自然に大衆の中に溶けこんでゆくことが大切でしょう。”

UEAの支部委員は、私を温く迎えて呉れて、彼の家の集りでは、4人の若いフランスのエスペランチストを交え、活発に話がはずんだ。

最後に付け加えたいことは、この国の政府は金の必要が生じると、新しい郵便切手を発行して、これに充当すると言われているが、これは少々大袈褌すぎるとしても、この国の郵便切手によるフランの収入は、1951年には770,000スイスフランに達している。

こうして、私はリヒテンシュタインに対する好印象と、新しい見聞と、新たに発行された郵便切手とをたづさえて、この国に別れをつげた。

「エスペラント寸考」

西里 静彦

現在、世界に数ある国のうち大きな国の国語に就いてみますと、その言葉としての勢力範囲は時代と共に変っている杯です。此のことに私は言語界が大きな不安定性と、それに伴う停滞性を有する原因があるのではないかと考えます。国際会議に使用される言葉を或る意味で世界語と云っている杯ですが、いくら代表者達が用いても、其の国の人々皆が用いていないのなら、其の世界語は決して私達の欲しているものではありません。ところで、或国の言葉、即ち国語が果して永世の世界語となり得るでしょうか。現在の世界状況が続く限り、それは不可能です。此のことは国語それ自身の持つ性格という別の観点からも想像出来ましょう。全世界の人々から愛される言葉——真の世界語——となるには其れ相応の条件と云いましょうか性格が必要ですが、幸い私達の言葉エスペラントは明らかに其の性格、即ち世界性を有しています。文法は世界語たるに、小さく整然としていて簡単です。更に国語という荷書を持っていないので時代の移り変わりにも左右されず前途を続けています。しかしながら未だ其の正史は日が浅く、現在は普及

段階にありますので、今後の進展の如何は全く私達の運動の方法にかゝっていると云えましょう。此のことに關し、次に同志の一人として意見を述べさせて頂き同時に皆様方にも考えて頂きたいと思ひます。但し私は未だエスペラントに習熟していませんので、その意見は私の無知を暴露する様なものかも知れません。

さて、先程エスペラントの世界性ということをお云いましたが、それは先づオーに文法の平易なことにありましょう。このことは世界語の必須条件であると思ひます。ところで、私の経験から申しますと辞書さへあれば割合容易に文章を作ることができますが、それに比して他の人の書いた文章となると、それを読む時には、かなり苦勞をすることがあります。複雑な造語のために、語の意味の解らないことはしばしばです。エスペラント文法と云えば、大部分が造語に関するもので、これはエスペラントの重要因子となつています。わづかの語根から多数の言葉を作ったり、極めて細かな気持までも表現し得るなど、これは他の國語を凌駕する所以のものでしょうが、然し同時に、エスペラントに技巧的傾向を与えるものの根であります。このことは、エスペラントを趣味的なものにし、実用化への道を遠ざけるものと断言出来ないこともありません。私達はそのようなことに就いても常に考えるべきであり、特に造語に際しては充分考慮を払わねばなりません。こみいった造語は徒らに私達の理解を苦しめるものであり、ひいてはエスペラントへの親しみを、うすらげることにもなりかねません。私達は、其の様な語を造るのに苦勞をするよりは、むしろ易しい言葉で如何に云い表わし得るかということに努めるべきでありましょう。私達は造語に於てのみならず、文の構成に於ても兎角、技巧的傾向に走りがちなものです。一応、文法を覚えると謂所巧い文章を書くことに、一層の努力を払うことは誰しも同じでしょうが、此の「巧い文章」という意味が、しばしば誤解されるということは云える所です。文章は人の心を表すものですから、余韻を持たすのも結構であり、必要でもありましょうが、その為文章が複雑になり他人の理解の妨げになるものであつては何にもなりません。あくまでも他人に理解され得るものでなくては無意味です。此の様なことを考えると「巧い文章」というのは人の心を率直に正確に伝え得るものということになりましょう。複雑な造語、比喩、語の省略、不要な句読点等は、しばしば私達の理解を苦しめ、時には誤解すらまねきますので私達は特に、これ等には充分注意力を併かせ相手の人に理解され得る様な文章を書くことに勉めるべきです。言葉は心の懸橋です。國語は國民の、而してエスペラントは吾輩の人々の心の懸橋です。それは世界の誰しもが大手を振つて自由に通れる橋でなくてはなりません。

皆さん、エスペラントのこの名誉ある重大な使命を再びここに託しましょう。
少し、とりとめない文になりましたので、終りにもう一度、私の提議を繰返します。
“卒直な簡明な文章を書きましょう。そして趣味のエスペラントではな
た、実用のエスペラントへと私達の手で押し進めて行きましょう！”

西 里 静 彦
エス会々員 北大生

ユーゴースラヴィヤの 大学生から

オタル 早 川 昇

私は現在、ユ国の方とは、お二人と文通して居ます。一人は、さる幼稚園の、
若い女の先生。私の御返事の差上げようが何時も遅いものですから、時々恨まれ
たり叱られたりしますが、然し、仲々以て人柄の、好い方です。もう一人の方
は、ベオグラード大学でロマンス語言語学を専攻して居る学生さんで、此処に御
紹介しようとするのは、此の方からの近信なのです。大変長いお手紙なので、そ
の中から、多少言語学に觸れた部分だけを抜いて、訳す事に致します。

『貴方も触れてお書き寄越しに成りましたように、世界には凡そ三千種類もの
言語が有って、其れ等は三つの部門に分けられます。即ち、(1)一音節が一語根
のもの(例、支那語)、(2)膠着するもの(例、日本語)、(3)語尾変化するも
の(例、インド・ヨーロッパ語)の三つに、です。

此の「インド・ヨーロッパ語」、若しくは「アリアン語」と呼ばれて居ます諸
言語は、更に、二つの大きな部門に分けられます。その一は、「ケント語」
Ken-tum、他は「サテム語」*Satem* です。「ケント語」部門に属する言語を
挙げて見ますと、独逸語、伊太利語、ケルト語、ギリシヤ語等、ヨーロッパで話
されている言葉ばかりです。「サテム語」部門の方はと申しますと、これには、
ヨーロッパで話されている言葉としましては、「バルチック語」、「スラヴ語」、
「アルバニヤ語」が属し、アジアで話されている言葉としましては「イラン語」、
「センゾー語」、「アルメニヤ語」が属して居ます。言語学的研究が明らかにし

て居ます所では、アリアン人の祖國は、メサン *Mesari* と北歐です。

「サテム語」は、*k* を *s* と訛つて発音します。この種の言葉を「サテム」と呼びますのは、梵語による「*Cento*」の読み方です。

「スラヴ語」は、「インド・ヨーロッパ語」の「サテム語」部門に属して居まして、「先スラヴ語」から由来した言葉です。「スラヴ語」は、更れを分類しますと、

- 1) 「東スラヴ語」(「露語」、「ウクライナ語」、「白露語」)
- 2) 「西スラヴ語」(「ポーランド語」、「カスピ語」 *Kasuba lingvo*、
「エルベ・スラヴ死語」 *Mortinta elbislava lingvo*、「ヴェンダ語」、
「チェコ語」、「スロヴァキヤ語」)
- 3) 「南スラヴ語」(「古スラヴ死語」、「ブルガリア語」、「マケドニア語」、
「セルビア・クロアチヤ語」、「スロヴェニア語」)

に分れます。それらの違いは、名詞・形容詞の変化とか、動詞活用とか、アクセントとかに現れて居る訳です。

「南スラヴ語」と言うのは、凡そ三世紀のころに古スラヴの自治体から出た言葉なのです。そして一ころは、今日の南スラヴの小作地へ出る方面に、南スラヴ言語共同体が存した事も有ったのです。然し、此の種の言葉がバルカン半島へ伸びません内に、「スラヴ語」の他の主要部門ニつ——「東スラヴ語」と「西スラヴ語」が起つたのです。そして前者からは「古スラヴ語」と「ブルガリア語」が、後者からは「マケドニア語」、「セルビア・クロアチヤ語」、「スロヴェニア語」が發展しました。

さて、私達セルビア人の母語の名称を申しますと、それは習慣上、「セルビア語」 *Serba lingvo* と言つて居ますが、同じものをクロアチヤ人は、「クロアチヤ語」 *Kroata lingvo* と呼んで居ます。そしてこの言葉は又、モンテネグロの人々によつても語られて居るのです。科学上ではこの言葉を、「セルビア・クロアチヤ語」 *Serbokroata lingvo* と申して居ます。

私達の文章語は、この基礎の上に、ベオグラードとザグレブの二大中心地の周辺に発達したもので、発音上にイエカーヴァ *iekava* とエカーヴァと呼ばれる二枚の発音がなされたり、字母に「ラテン字母」と「スィリル字母」 *Cirila alfabeto* とが有つたりはしますが、同一性質のもので、次に、綴字法はと申しますと、其れは音声学的なものでして、創成者は、ヴック・カラヂチ氏 *S-ro Vuk Karadžić* だとされて居ます。1818年に、氏の用い初めたも

のだそうです。

「セルビア・クロアチア語」は、ユーゴスラヴィア国に有る五つの人民共和
国で、話されて居ます。つまり、セルビア・クロアチア、ボスニア、ヘルツ
ェゴヴィナに於いてです。セルビアではエカーヅァの発音、クロアチア、ボス
ニア、ヘルツェゴヴィナ・モンテネグロではイエカーヅァの発音です。セルビア
人、モンテネグロ人は「スィリル字母」を用いますが、クロアチア人は「ラテ
ン字母」を使います。

「セルビア・クロアチア語」は、「スロヴェニア語」、「マケドニア語」と
共に、「南スラヴ語」の両方部門を成して居る訳です。この部門が南スラヴ語か
ら分岐したのは、バルカン半島にその到達しました時代に於いてだつたとさ
れて居ます。「セルビア・クロアチア語」を用いた記念碑は、12世紀から建
て初められました。……』

余りに長文に失することを恐れて、この辺で擲筆しますが、今日、東欧に於け
るエス語の大中心地を成して居るユーゴスラヴィアが、如何なる言語学的地帯を
有して居たかを考えようとする方にとつても、又、世界の言語を大観したいと欲
される方にとつても、このユ国の学生、ペータル・ステファノヴィッチ君の筆ま
めは好ましいものであるに相違ない。同君は未だ二十歳の若年ではあるが、既
に仏、伊、露の三ヶ国語を語り得、スペイン語をも若干は解し、これからはこの、
松の本と茶の湯の国の言葉をも究められたいと言う。

賀すべし。佳き友、面に笑まえり。

(一九五五、九、八)

ことばと文字

橋内和男

世間には、ことばと文字とをごつちやに考えている人が少くないようです。金
田一春彦氏の「ことばの四季」という隨筆集に、憲政の神木といわれた尾崎行雄
翁が、ことばと文字をごつちやにされた話がのつています。その話というのは、
尾崎翁が「日本語を廃止しなければ国民の頭が進まない」という主張をされたが、

なんそは
だつたと
の神経の
だと述べ
のですか
しかし
向題が、
の進歩も
な人々は
ならない
たすこと
だ人々は
と文字と
トの文化
ところ
係してい
ナモジは
的、理想
否かの違
いはある
とする精
このよ
約な立場
る人々の
のことが
文芸春
いますか
度からい
談論の余
語尻に発
实用向き
ろんなく

なんぞはからん。それは、「漢字やかなを廃止してローマ字を使え」ということ
だったというのです。そして金田一氏は、尾崎翁の神経が太かったと評され、こ
の神経の太さは、尾崎翁が言語の問題についてはシロウトだったことによるもの
だと述べておられます。大政治家尾崎翁にしてからがこのようなまちがいを犯す
のですから、世間一般の人がまちがうのは当然かも知れません。

しかし、やはり、これでは困ると思います。人類の文化の基盤であることばの
問題が、このように太い神経で扱われたのでは、民主主義も、世界平和も、人類
の進歩も望まれないと思います。そのようなことを望む、進歩的な、理想主義的
な人々は、ことばの問題について、金田一氏のいわれる細い神経を持たなくては
ならないと思います。このような望ましい性格は、エスペランチストの中に見い
だすことができます。合理的に組立てられた理想的なことばエスペラントを学ん
だ人々は、あらゆる言語を批判的に見る目が具わっています。そこには、ことば
と文字とを混同するあやまちを犯す余地などは全くありません。エスペランチス
トの文化の先達者としての責任の重いことを感じます。

ところが、おもしろいことは、エスペランチストで、ローマ字やカナモジに關
係している人が少くないことです。エスペラントはことばであり、ローマ字やカ
ナモジは文字です。これには、どんな關連があるでしょうか。私はこれを、進歩
的、理想主義的精神にあると思います。エスペラントを世界語にしようとするか
否かの違いはあり、また、国字をローマ字にするか、カナモジにするかという違
いはあるにしても、言語の現状に満足せず、少しでも合理的なものに近づけよう
とする精神が、ことばや文字の上に現れたものと見てよいと思います。

このような、進歩的な立場の反面に、ことばの問題についても実に取強く保守
的な立場を守っている人々があります。国語の上では、いわゆる文藝家といわれ
る人々の中にその例が多いのは周知の通りです。そして、外国語についても同杯
のことが少くありません。最近、目についた一例をあげてみましょう。

文芸春秋の七月号に、高石真五郎氏のヘボン式ローマ字を主張する文が載って
いますが、その中につぎのようなことばがあります。“世界における英語の普及
度からいえば、英語に立脚してローマ字綴を決めるのが最も實際的であることは
議論の余地がない。そして英語以外の国民も今日では、日本のローマ字綴りは英
語風に発音するのだということをごだいたい承知している”、また、“ヘボン式が
実用向きの綴り方として何の不都合もなく、七十筆の長きにわたって、日本はもち
ろくなく海外諸国で用いられてきた厳然たる争突は、その合理性を最も雄弁に物

語るものではないか”など、エスペランチストからみれば何という乱暴な誹論でしょう。日本式ローマ字論者でなくても義憤を感じないわけには行かないと思うのです。

エスペラントの普及率は決して満足すべき状態にはありません。その最も大きな障害は、この保守的な、現状維持的な精神にあるのではないのでしょうか。エスペランチストは、このような精神とたたかって行かなければ、その理想を達成することができないのではないかと思います。

(1955・6・23)

埋 火 (四)

相 沢 治 雄

太平洋戦争の始まったころであつた。札幌の大通りのそこかしこに若いアベックの何組かが、春ののどかな日ざしを背に浴びながら芝生の上で語り合ったり、若葉のそよぐ下を手を取り合つてそぞろ歩いたりしていた。すると通り合わせた警官がいきなり、「この非国民奴」とどなりつけた。この非常時を何人と心得ているかという杯な争を一席ぶつてから、「そんなに女とくっついていたいなら手をつないで一緒に歩け」と言つてそのあたりに居合せたアベックを二十数人集めて全部手をつながせ、十数分間大通りの人目の多い所をぐるぐる歩かせて侮辱を与えた。この杯に、軍人や警官は国民を子リアクタとも思わなかつた時代だから罪人に対する取調べは苛酷を極めた。もつとも現在でも苛酷な拷問が行われている事は色々な事件で新聞や雑誌に発表されている。だがいわれなしに通行人をとらえて侮辱を加える事前例の杯なものは聞かない。特に警官が民主的になつたとは思われぬが、その杯な行為を正当化する裏付けが薄弱だからしなだけの事であろう。今の警官は昔より素直が落ちてきているという事は古い警官から常々聞かされる事であるから、又言語統制が行われたり、非常時とか何んとか呼ばれる時代が来たらどんな争をやり出すか知れたものではない。何んのために前述の杯なつまらない争を書いたかといへば、その当時の文化運動が如何なる非常識な弾圧を受けたか十代の青少年にはだんだん理解しがたくなるであろうし、われわれが声

を大に
ぶ人は

私が
山本左

会や講

エスペ

高瀬正

博士(

なエス

河野広

活動を

イとし

193

う争が

く聞き

である

か、私

9月

の杯な

置かな

そして

真坦す

次に

この事

以てし

ごみと

とは思

尤も

表通り

けとい

を大にして叫んで居ても又あの当時に逆行しつゝあるから、これからエス語を学
ぶ人は、昔の争をもよく知ってもらいたいという気持ちからである。

赤化事件並に連盟の態度

私が札幌のエス会に加入する株になつたのは 1931年3月頃からであると思う。
山本左三先生がオックスフォードの 22回万国エス大会に参加され、帰朝後展覧
会や講演会があつて白樺という喫茶店で毎週水曜日に集会していた。札幌の古い
エスペランチストはこの当時の争を白樺時代と言つている。北大田上政敏先生、
高瀬正栄先生、まだ学生だつた坂下清一君、東隆氏、高倉真一郎先生、河野広道
博士（当時はまだ博士号をとつておられなかつた。）などの名士もその当時熱心
なエスペランチストであつた。この当時の札幌エス会に特高警察が注目したのは、
河野広道博士がメンバーであつたのと、その外太田兄弟が会員として熱心なエス
活動をして居たからであつたと思われる。とに角 特高に清水という刑争をスパ
イとして札幌エス会に入れた。

1931年6月17日、千秋庵で臨時大会が開かれ、今後白樺は使用出来ぬとい
う争が発表された。理由は説明されなかつた。私はその後白樺を訪ねてそれとな
く聞き出して見たが、はっきりとした理由は言わなかつた。しかし、特高の干渉
である争ははっきり感ぜられた。河野博士や太田兄弟がどの様な行動をしていた
か、私は全然知らなかつた。

9月23日臨時総会が開かれ、太田兄弟の提案で、エスペラント運動も今までの
様な行き方ではいけない、すべからず常設事務所を設置して常駐の専員位は
置かなければならない。常駐専員は太田兄弟が自ら引受けるといふ争になつた。
そして常設事務所の至費の半額は太田兄弟が負担し、札幌エス会は半額の五円を
負担する争になつた。

次に集会日である9月30日はこの常設事務所で開催する争になつた。ところが、
この事務所なるものは、われわれが想像したり希望したりしていたものとは全く
似ても似つかぬ変な場所にあつた。市立病院の向側のはそい小路で恐ろしくごみ
ごみとしたウラ長屋の様な所でどう考えても文化運動の先端を行くエス会の事務
とは思われない。左翼の斗士のカクレ家かアジトにそっくりであつた。

尤も家賃が十円なのだからそう立派なものが出来るとは夢にも思わなかつたが、
表通りでも小さな家なら十円で何人ばでもかりられた時代だし、玄関と一部屋だ
けといふ様な契約なら五円でもあつたらう。その日は私、当時幹事をしていた録

田君、河野博士、東隆氏（東氏もこの当時は左翼的な人物と見られていた。）太田兄弟その他誰か居たかはっきり記憶していないが、例の清水刑事が出席していた。会話や雑談等して一時向位した時だろう。外に人声が出たと思つたら清水刑事はそ、くさと立ち上つて入口から出て行き、誰れかと小声でひそひそ話をしていた。そつとうかがつて見るとこのほそい小路の両側に一人か二人づつの刑事らしい着が乗り込んでいるのだ。われわれは完全に銭のラートとなり果てたわけである。しかし清水刑事が何を話したか知らないが、何くわぬ顔で席にもどつて来た。まもなく散会して外に出たが、先程の刑事達はどこにも見当らなかつた。恐らく清水刑事が上手に話してくれたに相違ない。私は刑事にしぼり上げられる事をまのがれた事について心中大いに清水刑事の好意に感謝し同時に一抹の不安を拭い去る事は出来なかつた。

この軍丁度この頃（9月18日）満洲事変の発端と言われている柳條溝事件が勃発した。

1931年（昭和六年）9月18日奉天事件勃発の時の世界情勢は実に以上の如きものであつた。日本側の説明によれば、支那軍遊撃隊がその日の夜十時頃奉天郊外の南滿洲鉄道に地雷を敷設し、10時30分長春より奉天に到着する急行列車を爆破せんと企てたが、列車は客車に何等の損傷を受けず、旅客も何等の危害を蒙ることなく時間通り奉天に到着した。それにも拘らず、満洲に於ける日本軍は支那軍が鉄道破壊を企て、且つ日本軍に対する「総攻撃」の一歩として日本の鉄道守備隊を攻撃したと主張した。この事件があつて数時間を出ない中に満洲の日本軍並かに朝鮮駐屯軍の一部は長春から大連に至る南滿洲鉄道の全域に対して行動を開始したのであつた。

聯合國軍総司令部民間情報教育局の資料によると（中屋健式訳）以上の如くに説明されている。

戦争の臭がふんがんとして来た。このあと10年太平洋戦争に突入するまで、人心はだんだんデカタンになり、左翼運動は地下潛入的秘結結社的になつて行つた。時高はあらゆる方面に網を張りめぐらし、左翼の摘発、赤化運動の弾圧に狂気の塚になつていた。

10月4日太田民明（弟）が行方不明になつた。近所の人達の話で毎夜あやしげな人物が出入りしていたことを知つた。10月5日私と鎌田君と二人で華ム所に行つて見ると、見た事もない男が泊り込んでいた。彼の言う処によると警察に追われた社会主義者でここに居てもあまり安全でない所だからどこかに行くのだが

と言つて、
と将棋の集
だぜ。おめ

私はこの
れる事は迷
した処では
を誰だかに

ことここ
りわかつた

10月28
になつた。

ので、出て
ねに来たの

るが、弟は

る足がガク
角就眩した

を出さなか
イ顔の刑事

服であつた

1932年
つきり記憶

道、突然一
つた。何人

れ、手にし
ンドはいい

人物の塚に
私が時々出

ものと思わ
北大の工

けないとい
1933年
Leontod

と言って、私達にも充分気をつける様に注意してくれた。近頃は短歌の会だろうと将棋の集りだろうと人が三人と集れば必ずにらまれる。—— ずい分ひでえもんだぜ。おめえたちもせいぜい用心するんだな——

私はこの家はエス会の争ム所としてかりている所だから主義者の人達に使用される事は迷惑である事を話して立退いてくれる様に話した。後で鎌田君が私に話した処では、彼はちいさな紙片をまるめた（小さな六神丸のビン位のもの）レポを誰だかに渡してくれとたのんだとの事であるが、それも断ったようだ。

ことここに至つては、お人善の私や鎌田君も太田君にしてやられた事はつきりわかった。太田君達はエス会を利用して左翼のアゲトを作つたわけだ。

10月28日私が十円位の部屋を借りて集会所とし、会から五円の補助を出す事になつた。この頃私は札幌市電に入局し教習を受けていた。面会人があるというので、出て見ると清水特高刑事であつた。太田君の弟の行き先を知らないかと尋ねに来たのだ。私は太田君とはそれ程親しくしていない事、又の住所は知っているが、弟は行方不明で心当りのないという事を答えた。私は青くなつて階級を上る足がガクガクふるえた。今私を尋ねて来た人が特高刑事だとわかつただけで折角就取した市電を忍ち首になる公算が多大であつたからだ。清水刑事はその後顔を出さなかつた。転勤にでもなつたらしい。その後口教の少ないおそろしくゴツイ顔の刑事が現れた。柔道四段とか五段とかいう男で、私が会つた時は大てい私股であつた様に記憶する。

1932年8月5日オノ回全道大会山部で開催、9月の終りか10月の始めかはつきり記憶していないが、私が大学に行き、田上先生が前田君を訪ねてのかえり道、突然一人の男に不審款向された。てつきり刑事だと思つたら大学の守征であつた。何人のために来たか、誰を訪ねて来たのか、持っている物は何かと偵問され、手にしていたフロシキを調べられた。中にエス語の本が二、三冊、エスペラントはいいが社会主義はいかん、という様な事を言つた。外国語の素養なやある人物の扱には見えなかつた。私の持っている本がエスペラントだと解る訳がない。私が時々出入するので、エスペランチストとわかつていていやがらせに調査したものと思われる。

北大のエス会は解散させられた。個人的な研究は差支えないが会を作る事はいけないというのである。

1933年9月23日オ2回エス大会札幌で開催、この大会については Leontodo No. 12 に詳述したが、8頁の赤色分子排斥の件というのに注目せ

られたい。

当時の連盟規約のオ三策に次の採ねのがある。

オ三策 本聯盟ノ綱領次ノ如シ

- 一、吾人ハ北海道ニ於ケルエスペラントノ研究普及ノ健全ナル発達ヲ期ス。
- 二、吾人ハエスペラントノ使用ニ依ッテ國運ノ進展、國威ノ發揚、國語ノ尊重ヲ期ス。

これはオ一回大会の時三田智大先生の強い主義によつて決定されたものである。私がこの綱領に対してエス語の本質に反する様な恐れがありはしませんかと反対意見を述べたが、三田先生は大変に御不満であつたとあとで聞いた。しかしこの綱領に付いての先生の気持は現在この文章を見て察する様な軍国主義的な考え方ではない。

聯盟会報オ二号に先生は説明しておられる。

3. 「國運の進展」中等学校に於ける教育能率の増進、社会民衆の生活能率の増進、貿易、交渉、旅行等に於ける利益の増進は、我國にエスペラントが普及使用されることに依つて得られること甚大である。

我々は挙国一致エスペラントを使用することを期待して此の目標に向つて促進運動を行わねばならぬ。

4. 「國威の發揚」外國語を操つて外國人に応待するのは、借着を着て貸主の前に出る様なものだとされてある。

どの國家にも所屬しない中立の人造語だけは、人類一同の共有財産であつて貸借關係がどこにもない。

國家の威嚴は國家の實力に相應して保持せらるべきであり、我が國家の隆盛は、平易中立のエスペラントを以て世界に其の意志抱負を宣揚する時に初めて全しといふべきである。我々は此の時代の當來を期待して努力尽瘁すべきである。

5. 「國語の尊重」國語は國史を織出し、國民性を培ひ、國民の團結を堅める。國民にして國語を尊重するのは歐洲の大國に小國に其の例が多い。尙が、惜しい哉、日本人にして日本語の尊重を自覺する者が乏しい。外國語の國內使用が滔々として風をなし、日本語を純真に発達せしめよとの卓説は顧みられない。我々は種多な外國語の國內跳梁を押圧し、日本語の尊貴なる所以を日本人の腦裏に滲透させねばならない。

この三田先生の御意見は實に立派なものであると思う。ジヤスト一寸待つてモ

ーメント式
國語の尊重
感にも村
ンチストを
た。(した
の人達は私
然である。

のやり方に
1934年
の規約があ

オ四系
オ五系
オ九系
等と定めら
そして次

最近の
たきまし
究会を設
ス語を宣
譯つて我
に落ちた
即ち、
りますか
向に何等
ものが当
之等エ
札幌エス
我がエ
らざる換
社内にエ

ーメント式のあやにしてしげなるジヤパニズ日本ランゲージの氾濫する今日、「
國語の尊重」の御説明の如きは、心中一陣の清風過ぎ去るの感がするではないか。

感にも付かない特高刑事とのつまらない磨擦をさけるため、又無色のエスペラ
ンチストを守るために私達は連盟の綱領を赤色分子排斥決議文を利用する事にし
た。(したというよりなつたという方が妥当であろう。) しかし真面目な左翼
の人達は私達の行き方を非難した。(インチキ左翼分子も私達を非難した事は当
然である。) 現在私はやはりやむを得なかつたのだと思つている。真面目に政府
のやり方に抗議し投獄されても志をまげなかつた方々には敬意を表する。

1934年1月札幌エス会の機関紙ラ・ウールソを発行した。その中に札幌エス会
の規約があるが、

- オ四系 本会ハ北海道エスペラント聯盟ニ加盟ス
 - オ五系 本会ハ北海道エスペラント聯盟ノ綱領ヲ尊重シ之ヲ遵守ス
 - オ九系 本会ノ規約ニ違反シ又本会ノ体面ヲ汚スモノアル時ハ之ヲ除名ス
- 等と定められていた。

そして次の様な声明書を発表した。

声 明 書

最近のエスペラント運動の状態を見まするに、本州はもとより北海道各地に
於きましても講演会、講習会を盛んに開催して会員の増加を計り、輪談会、研
究会を設置して会員の学力の向上を計り、又は展覽会を開催して一般人士にエ
ス語を宣伝する等其の普及兴隆に努め相当の効果を収めているのでありますが
譲つて我札幌のエス運動を見まするに、昨年の北大赤化事件以来全くその勢地
に落ちたるが如く衰えたことを認めざるを得ないのであります。

即ち、未化学生中にエスペラントを研究して居た者が数名見出されたのであ
りますが、此の事が新聞紙上に発表されますや、エスペラントと赤色思想との
間に何等かの関係あるものの如く誤解し、甚だしきはエスペラントの研究その
ものが当局の忌諱に触れたかの如く誤解した向も少なからずあるのであります。

之等エスペラントに対する世人の誤解と、其の誤解を恐れる学習者の思慮が
札幌エスペラント運動を沈滞せしめた大なる原因であります。

我がエスペラント会は彼等赤色分子のため少なからず迷惑を蒙り、忍ぶべか
らざる損傷を与えられた事實もあるのであります。又之等のことは諸官庁、会
社内にエスペラントを普及し以て皇道を世衆に教ぎ、広く智識を海外に求むる

の成を成せしめんとする吾等の希望と、又将来中等学校の教科中にエス語を採用せしめ外国語学習の困難より青少年を解放せんとする吾等の希望を根本より破壊するものであります。

若し吾々エスペラントが手を束ねて之等の問題を等肉に附し、進んで之等の誤解を解こうとしなかつたならば、世人の誤解はいやが上にも増大し、為に健全なるエス語研究者は甚だしく減少し、かえつて赤色分子のエス語悪用をほし、いまにせしめ遂に事態は收拾すべからざるに至るであります。

吾人は北海道に於けるエスペラントの研究普及の健全なる発達を期す、この北海道エスペラント聯盟の綱領を尊重しエス語の健全なる発達を望み又エス語を以て望恩に報いんとする吾々は之等の争突を軽々に看過し得ないのであります。

如上の理由を以て吾々は札幌エス会は他に卒先して赤色分子排斥の宣言を決議し、吾会の立場を明らかにせんとする次第であります。

昭和八年十一月八日

札幌エスペラント会幹事

相 沢 治 雄

宣 言

札幌エスペラント会は北海道エスペラント聯盟の綱領を尊重し赤色分子の入会を拒絶す。

昭和八年十一月八日

札幌エスペラント会幹事

相 沢 治 雄

署名が私になっているのは会長の田上先生が北大赤色事件で北大エス会が解散になつてから札幌の会長も遠慮され幹事の鎌田君が、1931年1月1日用務多忙という事で私に引継いだからではあるが、上述の様な声明書には反対もあつたのではつきりとした決断を取る事も出来ず、将来責任は私が取るつもりであんな風にしたのである。

この様なやり方はこのエス会でもやつた1932年に聯盟本部では道庁警察部に届書を出した。

小生等、別紙印刷規約の通り北海道エスペラント会聯盟を設立し綱領に従つて

活躍致

聞く

候へど

の損傷

御提携

尚、

れ居候

力し相

北

面白い

き……と

当に面白

Leon

時に発表

るので、

た。取業

したり色々

人間的に

て、又自分

いない。こ

る。そのへ

くわなけれ

つびいて行

活躍致すべく候向、深甚の御理解と御援助とを賜り度比段御届けに及び候也。

聞か所によれば、エスペラント研究者にして国法に背くが如き者も有りし由に候へど、是れ小生等の趣旨と全く相反する者にして、此れがために受くる小生等の損傷は忍ぶべからざる所に御座候。小生等の意のある所を十分に御調査の上、御提携を得たく切望仕候。

尚、滋賀県特高課（大津市）に於ては、三十名の官吏が斯語を盛んに研究致され居候が、北海道各地警察署に於ても研究の御意向有之候節は、小生等喜んで協力し相共に研鑽致したき存念に御座候。

昭和七年十一月二十七日

十勝国帯広町大通五丁目十四

北海道エスペラント会聯盟本部

幹 事 原 田 三 馬

三 田 智 大

外 聯盟員一同

北海道庁警察部長 藤岡長敏 殿

面白い事に国法に背くが如き者という處の国法の字が印刷では團結に背くが如き……となつており、ペンで国法と訂正してある事である。フロイド学者なら適当に面白い説明を付ける事だろうと思ふ。

石井特高刑事について

Leontodo No. 12、6頁を参照されたい。才24回日本大会の記事を書く時に発表するつもりであつたが、この社会に記した方が連関性がよい様に思われるので、筆を進める事にする。石井と言うのは本名でないという事はすでにのべた。取業上エスペラント運動を調査しなければならぬから、エス運動の調査をしたり色々な欺計を用いたりしたのであらう。

人間的に決して悪人ではないむしろ善人である。刑事という取業と待遇が良く、又自分自身で良心の呵責さえ感じなければ、たしかにゆ快で面白い仕事に違いない。ことにあの当時の刑事なら実に面白い毎日をおくつて居たものの様である。そのべんを歩いているなんでもない男を不審視向したり、返事の仕方が変にくわなければ頭からおどかしつけたり、態度にあいまいな處があれば警察にしよつびいて行く。ここに行けばうんもすんも一言も物を言わせない。なぐるける羊

は最も手やわらかな方法であつた。あの当時行われていた拷問の方法は指を縛つてその間に鉛筆を押込んでえをねじる。口から水をつきこむ。耳や鼻の穴に火を付けた線香をつっこむという様な事が最も彼等の好む処であつたという話だ。最近発行された刑事事件に関する不正事件を取りあつた書籍によるとやはり現在も同じ様な拷問を行なつているという事である。(裁判官正木ひろし著、光文社発行)。 迷宮入りの事件等あれば適当な被疑者(というよりも候補者)を引つぱつて来てしゃにむに犯人に作り上げてしまう。如何に精神力の強いかたい信念を持っている者でも長時間(数日間)に亘る拷問に耐える事は絶対に出来ない。刑事はあらゆる国民の上に絶大な権力と、完全な組織を持つてのぞみ。そして彼等自身の征服欲をみたしたり、残忍性を満足させたりした。女性の社会主義者に対する拷問は破廉恥を極めたものであつたという事は有名な文士も彼の小説の中に書いている。

悪法も法であるというから、あの当時の治安維持法にふれる様な事をした人は仕方がないとしても、ただエスペラントを学んでいただけで拘留された人も数多い。そしてエス語通信によつてコミンテルンの直接の指令を受けたと告白した人達もいる。

特高警察はやっきとなつてエスペランチストの動向を調べだした。当時左翼的なエス団体として P.E.U. (Proletaria Esperanto-Union) があり多くの労働者や学生が参加していた。さかんにアジビヲをまいたり、地下組織の採ね会合をしたり社会主義の宣伝をしたりしていた。P.E.U. で発行した本も相当ある。特高がこれに目をつけぬ訳はなく、又一般のエス会の中に P.E.U. の会員が入つていないか等目を光らしたのもあの当時として当然の事かもしれない。私達は左翼の人達に反動叫ばわりされるほど不明ではないと思つていたが、エス運動は一つの思想にとらわれてはならないし、ある特定の思想や宗教の道具にされては困ると思つた。左翼の人達が勝手にエスペラントを用いる事は差支えないが、中立的なエスペランチストを異端者扱いにするのは変である。エス運動といへども国家のために役立つものでなければならぬ。当時はこの様な考え方で進んだ。やはり人類のためというより国家のためという考え方に支配されたのは仕方がない事であつた。処で特高警察のやり方は何人でも報告の点教をかせぐというやり方で初等の講習会を受けたばかりの人の所にまで個別訪問をするのである。エスペラントの講習会を受けただけなのに特高刑事におしよせられては気の弱いものでなくても大低いやになつてしまう。

旭川等ひとかつた採である。1934年7月旭川エスペラント研究会が出来、

1935年
ればなら
いやがら
て来ます
て会長の
らまだよ
時々「ど
やな顔を
不良刑事
思われる
石井特
初から今
等あると
代の古い
所謂赤色
特別な催
もないの
い会員が
るねとた
は一度も
1934年
ではない
たい、ヤ
8月
本大会を
9月2
1935
4回全道
の頃から
ホ私の家
から彼の
のが任務
休った報

1935年7月旭川エスペラント会となった。そしてこの会は四五軍で解散しなければならなかった。(正確な年月調査中)その理由は特高刑争の大津会長に対するいやがらせが主な株である。彼等は仕事なくなるとエスペラントの調査に行つて来ますといかにもエスペラント会に重大な向題がかくされている杯に見せかけて会長の処に絶えずおしかける。人の迷惑も考えないで時間をつぶして行く丈ならまだよい。名差を出せの、新しい会員はどうだとかいやがらせをいう。そして時々「どうです先生一杯やりませんか」と会長をさそい出してたかる。会長がいやな顔をする、すぐ会員の身元調査や何かで敵をうつ。豪傑な会長はこの様な不良刑争に何時返もつきまどわれる事を心よしとしないで会を解散させたものと思われる。

石井特高刑争と私との交際は1932年10月頃から1936年9月頃迄続いた。最初から今迄の刑争と異なり何んもなく人好のするタイプであつた。やはり講習会等あると受講生の名差をほしがつたり、会員名差をくれと言つたりした。白樺時代の古い名差は一冊やつた。エスペラントの本質的なものや札幌エス会の中には所謂赤色分子等はいないという事もよく理解していた故である。甘祭とか何かの特別な催しもの時は名前を変えて出席した。私達も警察に目をつけられる何物もないので彼の出席を拒否した事もないし又出来るものでもなかつた。私は新しい会員が警察の調査をいやがつている事を正直に話し、新会員の訪向をしてくれるなどたのんだ。彼はよく私のいう事を理解して彼がエス運動を取扱つてゐる面は一度もやういう争がなかつた。

1934年 学会の岡本氏がもうそろそろ北海道で日本大会を開催してもよい時期ではないかという杯な話があり、札幌を中心とするエスペランティストが是非やりたい、やらなければならぬという気持ちが動いて来た。

8月21日私が小樽まで自敷車で福田君を訪れた。中村文雄氏にもあつて、日本大会を札幌で開催する杯にとすゝめられた。

9月23日オ3回の北海道大会が小樽で開催された。

1935年3月13日オ24回日本大会期成委員会が結成され8月3日帯広市でオ4回全道大会開催。6月16日23回日本大会出席のため私が名古屋に向つた。この頃から札幌を中心とするエス運動は非常に盛んになつて来た。従つて石井刑争が私の家に入出入りする事も多くなつた。大会や大きな催しものある時は私の方から彼の家に出向いた事もある。彼はエス運動についての正確な報告を提出するのが任務である杯にその頃の私には思われた。例へばオ2回大会について特高で作つた報告書は殆んど私の書いたもののまる写しであつた杯だし、日本大会の後

では彼の家に呼ばれて報告書作成の手伝いをさせられた。刑華だから言われる俵に従ったという事ではない。私等に出来ない様な事でも色々方面に渡りをつけた。会場の交渉や、名士に紹介してくれるとか随分臂も折ってくれたからである。日本大会などは彼の協力がなかつたらとてもあれほど手ぎわよくは行かなかつたかも知れない。それにこの当時特高に目をつけられる様な人は札幌エス会には殆んどいなかつたし、いても会に出席はしなかつた。

1932年の冬だと思ふが太田の兄が左翼的な婦人を主として講習会をやった事がある。私は主催者が札幌エス会の採に見られるのを恐れて解散するか若しやるなら別の名前でやつてもらいたいと申し入れた事がある。それに赤化排斥の決闘をしたり、特高刑事と親しくしたりしているので私の事を軍国主義者か反動だときめかかっている人もいた様だが、私としてはエスペラントの中立性を守る事と特高の弾圧からエス運動を守ろうという以外に他意なかつたのである。しかしその内に次に述べる様な大きな誤失を犯してしまつた。

松原雪江さんについて

1935年9月22日〜24日名古屋市で第23回日本エスペラント大会が開催された。この大会に私は北海道エスペラント聯盟の代表として出席し、第24回大会を札幌で開催する事を提案する事になつた。旅費その他の聖費として十円は同志が餞別として出して下さり、あと自分で十円ほど調達して汽車賃からその他全部で二十円で間に合せた。宿屋に泊つたのは名古屋の合宿だけであつた。この大会に参加したおかげで当時日本エス界の大立物という様な知名の士と親しくお話ししたり、交際する機会を与えられた訳である。万沢まさ子さんや親しい松原雪江さんにもこの時お目に掛り、その後何回か文通もしていた。24回大会が近づいた時次の様な手紙をいただいた。

もう20年も過つてゐる事だからこの手紙を発表しても御迷惑の掛る事もあるまいと思ふし、私の長い同業になつてゐたことでいつかおわびをしなければならぬと考えたついにその機会がなかつたのでここに発表させて戴く事にする。

相沢様 大会がいよいよ迫つて参りましてさやかし御忙しい事で御座居ましようが、お変わりも御座居ませんか。何時もお健かにエスペラント運動にお尽くし下されますように祈つております。

さて、大会に出席いたしますにつけ甚だ勝手なお願いで申上げにくいのですが何卒委細御承知の上御便宜を御計い致けましたならば大変うれしく存じます。

実は昨年名古屋大会より帰りました向もなく、かつて神戸のコレスポンドが

れない。三宅史平さんやその他の参加者が到着するというので札幌駅に私はじめ
地元の同志や前日に到着していた進藤静太郎氏が出迎えに行った。三宅氏が駅か
ら宿舎に来ると中で立ちどまつて進藤静太郎氏と話を始めた。大阪の松原雪江
さんが大会に出席出来なくなった事、東京迄来ていて警察の為に大阪に引き戻さ
れた事、それも札幌の警察から何か連絡があった為らしいといつて、私の方をじ
つと見つめた。あのおとなしい三宅さんのあの時の目の採に非難にこもった目には
出合つた事がない。私は全身の血がすうっと引いて行く採に慄いた。

あれ程札幌の日本大会に参加を希望されていた松原さんの気持はどんなであつ
たろう。そして東京から大阪につれて行かれどの採な意向を受けられたかと思つ
と身も世もない採な気がするのである。そして私という人柄を信用出来ない男と
して、要切者として整頓して居られる事と思つ。自分の不注意と言ひ戻らぬに申
訳ない事をしてしまった。十年程立つて大阪に行つた時(終戦後)松原さんに会
つてお詫を言いたかつたかその様子はなかつた。

8月9日付のハガキでエスペラントの事には一言もふれずに北海道行きは中止
した事、絶体音早教育法の事などを知らせてよこされた。私は返事を書く勇氣も
なくその気になつてしまった。今このハガキを出して見ると何か当局の圧力がこ
れにも加わつている採な気がしてならない。

石井刑事にはその後秘密をもらした事に付いて諮詢したが、大阪には、この採
な人があるかと照会した丈である。本人には知らせてくれるなと念をおしたのだ
かとあいまいな事を言つていた。

大会が過ぎて秋になり9月の末か10月頃であつたと思つ。私は取場に(当時札
幌市電の車掌であつた。)石井の訪問を受けた。彼は今まで私に対して取つた事
のない採な本来の刑事的な態度を示した。そして日本大会の時参加していた私の
家内がこの出席者の中に刑事が入り込んでいるという事を左翼的と見られていた
Iという婦人エスペランティストに話した。そのIという婦人はその事を大きな声
で婦人エスペランティストの会合の時エス語で演説したといつのである。私の家内
がそんな事と言うわけもないし、Iという婦人はエスペラントで話すほど研究は
していないはずなので私はその事を否定した。彼は怒ろしい目で私をにらみつけ、
今迄君の身元を調査した事がなかつたからといつて私の生年月日や本籍などを丁
度交番の巡査の採な態度で手帖を取り出してそれに書き付けて歸つて行つた。

その後戦争が終るまで会つた事がなかつた。

R. F
MA
5. Bou
Tél. 6

Tre
mi p
êfe
tura
arti
aktu
M
el m
de J
viaj
kaj
estas
nun.
P
helpi
donat
kiuj
D
pondo
miajn

R. FIQUET

MARBRES

5. Boulevard Stalingrad, 5
Tél. 69-65 NICE

Nice, la 13an de Junio 1955.

S-ro D-ro I. Yamaga
Okulisto
Hanazono-tyô Higasi 3-tyrn
Otaru-si (Hokkaido)

Japon

Tre Estimata Sinjoro,

Kun mia eminenta amiko, s-ro Prof. G. Waringhien, mi preparas eldonon de Esperanta Revuo, kiu estos ĉefe literatura, laŭ modelo de la antaŭmilita Literatura Mondo. Sed ni tre ŝatus ke ĝi entenu ankaŭ artikolojn pri kutimoj, moroj, sciencoj, metioj, aktualaĵoj k.t.p. en la diversaj landoj.

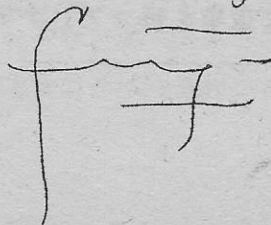
Ni sukcesis kunigi brilan kunlaborantaron el multaj nacioj sed mankas al ni partopreno de Japanaj kaj tio estas tre bedaŭrinda, ĉar viaj lando kaj kulturo estas certe tre interesaj kaj nebone konataj en Eŭropo kaj Amerikoj, kie estas la plejmulto de niaj legantoj abonitaj ĝis nun.

Pro tio mi nun turnas al vi por scii ĉu vi povas helpi al nia entrepreno per sendo de artikoloj aŭ donate al ni la nomojn kaj adresojn de personoj, kiuj povos verki por ni.

De nun mi dankas vin por via afabla respondo, kaj sendas al vi, Tre Estimata Sinjoro, miajn sincerajn salutojn.

R. K.

~21~



ユーゴースラビヤの少女との文通

サツポロ アリマ・ヨシハレ

10 才から 12 才くらいの欧米の少年少女が「同じ年ごろのニッポンの
ゴドモたちとの文通を望む」という文通希望の広告を出しているのを R.O
誌やその他の誌上でよく見かけますが、ニッポンにはこの年ごろで *Esperanto*
のできるゴドモがないので、彼等の希望をかなえてやれずに
気の毒なくらいです。

ヨーロッパのゴドモたちの *Esperanto* の力がどれくらいのものかを
知りたいこともあつて、ユーゴースラビヤの今年 13 才になる少女とわた
しの長男（今年 14 才）との間に文通させてみています。もちろん長男も
まだ *Esperanto* を学んでいないので、わたしがホンヤク着となって
両者の中つぎをつとめているわけです。

いままでに、こちらからはオム信まで出し、相手からはオム信までしか
受けていないのですが、オム信の文通では味合えないおもしろさもあるの
で以下少しヒロウレてみましょう。

サツポロ 1954. 12. 13

親愛な友

ぼくはあなたの住所を「*ヘロルド・デ・エスペラント*」の 10 月 14 日号
で見ました。

お互の国のおもしろい事について、あなたと文通をし、切手を交換した
いです。

ぼくはいまユーゴースラビヤの切手はたった 4 枚しか持っていない。
ぼくは 13 才の中学生です。

あなたはぼくの申入れを賛成しますか？ しかしぼくはまだエスペラン
トで書くことが出来ません。だからぼくは、父のなかだちで文通すること
にします。

ご返事を待つています。 さようなら。

親愛
わたし
ガキを大
わたし
ますので
あなた
あなたはゴ
を習得し
わたし
れました
していま
あなた
山の切手
す。
同時に
の工ハガ
きよう
ています
あなた

あなた

ぼくの親
千の感
山な切手
あなたか
くは感心し
ぼくは甘
校で英語を

ビェロバー, 1955. 1. 18

親愛な友よ!

わたしにとって、とても興味のある切手のはってあるたいへん美しいハガキを大きなよろこびでうけとりました。

わたしはお国の人々の生活、風習そしてお国の美しいものに興味がありますので、あなたと文通することをよろこんでお受けします。

あなたはエスペラントで書くことが出来ないと書いていますが、もうあなたはゴドモでなく立派な少年なのですから、エスペラント語で書くことを習得しようと主張しなければなりません。

わたしは小学校6年生の女の子です。わたしは1942年10月8日に生まれました。エスペラントは5年前に覚えました。いまでは15ヶ国と文通しています。

あなたはおハガキに切手を交換したいと書いていますので、わたしは茨山の切手をこの手紙に同封します。それがあなたの気に入るよう希望します。

同時に、Dalmatioの国民服装のEハガキとPostojnaの洞窟のEハガキをお送りします。

きようはこれで終わります。そしてあなたからのすぐのご返事をお待ちしています。

あなたのユーゴスラビヤの友の心からのごアイサツを申し上げます。

ズデンカ・ポラシェク より

あなたのお写真をお送り下さるようお願いいたします

サッポロ, 1955. 2. 2

ぼくの親愛なズデンカさん、

千の感謝をもってぼくはあなたのご親切なお手紙と2枚のEハガキ、茨山の切手をうけとりました。ぼくはすぐ切手アルバムにはりつけました。

あなたがゴドモのころにエスペラントを習得することが出来たことにぼくは感心しています。

ぼくはぜひエスペラントを習得しなければなりません。ぼくはいま学校で英語を習っていますので、エスペラントを学ぶ時間が持てないのです。

ニッポン語と欧米のコトバの間では単語、語句、文字その他で大きな違いがあります。だからぼくらは英語もエスペラント語も了解することは困難です。

ぼくらは国語を4種類の文字で書きます。その文字は「漢字」¹「ひらがな」²「カタカナ」³そして「Rômazi」⁴です。漢字（発音 kanji）はシナの文字です。ひらがな（hiragana）はシナ文字（カンジ）から変形されたニッポンの文字です。

カタカナ（katakana）はニッポン固有の古代文字で、Rômazi（roomaji）はラテン文字です。

次に、ぼくは4種類の文字でぼくの名前を書きます。「有馬一郎」¹「ありま いちろう」²「アリマ イチロウ」³「ARIMA-Itirô」⁴そしてぼくの住所をニッポン字では「札幌市北二十四条西九丁目」¹と書きます。

あなたの名前と住所は何と発音しますか？ あなた方はぼくらの国のことについて学びますか？

ぼくはまだあなたの国について学びません。それでぼくはあなたの国の現在の気候と雪の量について知ることができません。こゝしサッポロではぼくらはとても沢山の雪を持ちました。

あなたはとても快活で不平を言わない、そして物事にゴダワラナイ少女です。あなたはいつもよるこんで愉快に仕事をするので、あなたの木がラカナ性格を知っている人たちから愛されています。

それからあなたは忠実で温良なそして柔順な少女ですが、もしあなたが何か気に入らないとあなたは剛情な少女に変わります。

上に書いたことは、あなたの生れ年によってぼくの父が推量しあなたの性質をあらわしたものです。ぼくの父のこの推量はあつていますか？

あなたはニッポンの切手を望みますか？ ぼくはぼくの写真3枚とエハガキ2枚を同封でお送りします。

あなたのすぐのご返事を待ちつつ、

さようなら。

アリマ イチロー より。

サッポロ 1955. 5. 11

親愛な友、

1955年2月2日にぼくはあなた宛ぼくの写真と絵ハガキ同封の返事を

お送
あな
あな
あな
親
大き
るエハ
すべて
なか
ニッ
わた
もつと
あな
きほめ
ンに覚
あな
わたし
ズ
ピエロ
とても
まは悪
あなた
ですが、
わたし
念碑の工
でわ、
います。

お送りしました。

あなたはもうぼくの手紙をうけとりましたか？　ぼくは、手紙をまだあなたがうけとっていないのではないかと心配です。

あなたのお手紙を待ちつつ

アリマ　イチロー　より

ビェロヴァー　1955. 5. 22

親愛な友よ！

大きなよろこびをもつて、2枚の美しいそしてわたしにとって興味のあるエハガキとあなたの写真の同封されているお手紙をお受けしました。すべてに対して心から感謝します。

なかでもエハガキはわたしをよろこばせてくれました。　ということは、「ニッポンの美」というアルバムをわたしは持っているからです。

わたしはすでにあなたの国について学校で学びました。だからわたしはもつとよくお国やその自然美などを知りたいのです。

あなたはわたしが、子供時代にエスペラントを習得出来たことをおどろきほめています。-----。わたしは外国語をととても上手にカンタンに覚えます。

あなたはわたしの名前と住所はどう発音するのかっておたずねですネ。わたしの名前と住所は次のように読みます。

ズデンカ　ポラシエク。　ビェロヴァール市　ギンコギチェヴ 2。
ビェロヴァール市ではわたしたちは沢山の雪を待ちませんでした。先日はとても美しい暑い天気でした。もう、クダモノは皆みのりました。いまは悪い天候で雨が降っています。

あなたのお父さまのわたしについての推測は当たっているかと、おたずねですが、ええあなたのお父さまの推量はずいぶん正しいです。

わたしはあなたえわたしの写真と Zagrebo の Tomislav 王の記念碑のエハガキをお送りします。

でね、さようは終わります。そしてあなたのすぐのご返事をお待ちしています。さようなら

ユーゴースラビヤ、　ビェロヴァール市

ギンコギチェヴ 2.

ズデンカ　ポラシエク　より。

サライエチ 1955. 7. 3

親愛な友！

Sarajevo のエスペラント大会から、心からのごあいさつをあなたへお送りします。

ズデンカ ポラシェク より。

サッポロ 1955. 9. 20

ズデンカさま

5月22日付お手紙とあなたのお写真、Tomislav 王の記念碑の工ハガキ、深山な切手、それから Sarajevo のエスペラント大会からの記念ハガキをお受けしました。心から感謝しています。

写真で見るあなたはハッラツとして聡明ですね。あなたはニッポンのことを学校でならったそうですが、ぼくはまだお国のことをならいません。しかし、ぼくはあなたの国について大きな興味を持っています。

ニッポンという工ハガキを別送しましたからあなたのアルバム「ニッポンの美」にはつて下さい。それからキモノ姿のニッポン婦人の出ている絵本も別便でお送りします。これであなたはニッポンの風俗がよくわかりになると思います。10年前の尿燻のザンゴクさを見てどう思いますか？

いまこちらは秋風が吹いて寒いほどですが、夏はものすごい暑さで病みました。しかしその代りに農作物、クダモノなどは有史以来の豊収だといわれています。

ニッポンの赤坊がヒソ入りの粉ミルクを知らずにのんで3,000名ほど中毒症にかかり、40名余りは死にました。ニッポンでは昨年以來、集団的に死ぬことが多いようです。

世界のどこかではいつも争いが起つています。アメリカでは台風でソーナン着が深山出ています。人商は神の怒りにふれるような事ばかりしているのかも知れません。

あなた方は学校または家庭で、社会人としての色々な作法、たとえば食事の仕方、ダンスの仕方等について特別に教わりますか？ニッポン人はゴドモもオトナも何も教わりません。

ぼくはいま学校で、自動車の運転を習っています。動かすことはもう

おぼえま
ニッポ
さような

HEL

(書

ENCI

NAÜL

ELEM

EL

Prak

Nov

LA F

Pro

AUL

EL L

LA

Gale

EN

SON

PIL

AMO

PET

VER

SE

KUZI

おぼえましたからあとはスピードが"出せる"ように練習をつむだけです。
 ニッポンの切手を以し入れておきます。 でわさようはこれでやめます。
 さようなら。

アリマ イチロー より。

HEL 蔵書目録 (I)

HELの書籍は目下整理中ですが、事務所に搬入済は下記の通りです。

(書 名)	(頁) (年次)
ENCIKLOPEDIO DE ESPERANTO 1. A-Ĵ	271 p. 1933-44
NAŬLINGVA ETIMOLOGIA LEKSIKONO	249 p. 1907
ELEMENTA FOTOGRAFA OPTIKO	79 p. 1906
EL LA BIBLIO	43 p.
Praktika Frazaro	446 p.
Noveletoj el la Nigra Arbaro	47 p.
LA PREDIKANTO	26 p.
Proverbaro Esperanta	82 p. 1910
AULI	56 p. 1934
EL LA NOTOLIBRO DE PRAKTIKA ESPERANTISTO	125 p. 1934.
LA STRATO DE FIŜANTA KATO	268 p. 1937
Galerio de Zamenhofoj	40 p.
EN OKCIDENTO NENIO NOVA	252 p. 1929
SONORILLO KAJ KANONO	60 p. 1930
PILGRIMO	124 p. 1926
AMO KAJ POEZIO	96 p. 1928
PETRO	112, 48 p. 1932
VERRATA TESTAMENTO	122 p. 1930
SE GRENERETO	158 p. 1930
KUZETO	14 p.

ĤOPINKA	62 p.	(1929)
ARGENTA DUOPO	201 p.	(1937)
JUNECO KAJ AMO	70 p.	(1930)
Rido Sanigas	32 p.	(1929)
LA OFICIALA RADIKARO	69 p.	(1923)
Gajaj Honoraj por Esperantistoj	56 p.	(1929)
RAKONTOJ al mia Belulino	134 p.	(1907)
GINEVRA	48 p.	
LA ESPERANTO-KLUBO	48 p.	(1933)
世界語読本 (長谷川ニ葉亭訳)	46 p.	(1906)
PAROLADOJ DE D-ro L.L.ZAMENHOF	79 p.	(1924)
LA UNUA LEGOLIBRO EN ESPERANTO	32 p.	(1932) (昭7)
EN LA NEBULO	26 p.	(1931)
PERLOJ EL LA ORIENTO	40 p.	(昭2)
エスペラント発音研究	61 p.	(昭5)
LA DEK BILDOJ DE BOVPAŜTADO	22 p.	(1930)
Fundamenta Kursolibro de Esperanto	43 p.	(昭7)
ESPERANTAJ FABELOJ	44 p.	(1932)
TRAKTATO pri la ORIGINO DE JAPANA POPOLO	16 p.	(昭5)
INFAN-MURDO	47 p.	(1930)
BILDLIBRO SEN BILDOJ	35 p.	(1933)
EL Slava Literaturo	74 p.	(昭8)
DEZERTO	42 p.	(1932)
LERMOLIBRO DE ESPERANTO	40 p.	(昭11)
LA VERDA STELO	76 p.	(昭13)
Praktika interparolado Esp-japana	142 p.	(大13)
POPULARAJ KANTOJ en JAPANIO	18 p.	(1927)
中学学校英語科向題とエスペラント	30 p.	(昭10)
JAPANLANDO	102 p.	(1927)
Bona Amiko		
Unua Kursolibro de Esperanto	40 p.	(1931)

去る
スペラ
この
らの同
十時開
Espero
先づ
んでし
議長の
anto
その後
織を持
ありま
とや
がで受
又5-
Espero
ideano
交されま
先づ出来
帳に全国
オ20回
致でこれ
談に松
午後一時
午後一
の Poem
就中 5-
して午後

第19回北海道 Esperanto 大会報告

去る 10 月 2 日、小樽水天宮に於いて開催されました第 19 回北海道 Esperanto 大会の模様を茲に振り返つて書いて見たいと思います。

この日、気づかれた天気も朝の中は甚だ良好でありましたので各地からの同志も会場迄の道を難儀せずすんだのは喜ばしいことでした。午前 10 時開会の予定でありましたが由仁の同志を待つていた為午前十一時に *Esperanto* の合唱と共に大会は開催されました。

先づ連盟会長 *s-ro* 坂下の *saluto* を *s-ro* 坂下都合悪く出席出来ませんでしたので *s-ro* 相沢から代つて *Saluto* が述べられ、次いで大会議長の選出に入りました。その結果 *s-ro* アリマを全会一致で *Prezidento* に指名し茲に大会は新議長の下で運営されることになりました。

その後各地代表の *Movado* の状況報告がありました。何れも強固な組織を持たないため目立つたことも出来ず一年を経過したのが実状のやうでありましたが、小樽では高橋達治氏が *Esperanto* の通信教授を始めたことや、*s-ro* 早川の努力によつて花園小学生出岳の児童画がカールスコープで受賞したことなど、幾多の話題が活潑に話されました。

又 *s-ro* 相沢から、次期大会迄の計画として札幌に於いて散在している *Esperanto* の書籍を *HEM* の手によつて集め一所にまとめて *Saam-ideano* の参考に供したい旨申入れあり、これについても色々討論が交されましたが（書籍が散逸して全部集めることは困難なやうでしたので）先づ出来るだけ集めるやう努力することにしました。又、次期大会は札幌に全国大会が開催されてから来年で 20 周年になり、全道大会としても才 20 回に相当致しますので是非札幌にて開催したい旨提案あり、満場一致でこれを可決致しました。こゝで休憩に入り各自昼食を共にしながら座談に花が咲き、その後神威にて全員打揃つて記念撮影やら境内の散歩やら午後一時迄和やかな雰囲気の中に過ぎました。

午後一時再会し *amuzejo* に入り *s-ro* 早川の *Kanto*, *s-ro* 相沢の *Poemo* の朗読等、各自取つておきのかくし芸を披露に及びました。就中 *s-ro* 江口の佐濱おけさは満場の拍手を浴びる出来栄ででした。かくして午後二時半、水天宮会場より一路車を銀鱈荘に馳らせ東小樽附近の散

坂に行き、銀鱗荘にて水産記念館を見学したりしている中に、悪いことに雨が降り出しとうとう解散の余儀なきに至りましたので、茲に一同は全て散会し次期大会迄今年一年の活動を約して別れました。

以上が大会の経過のあらましであります。幹事と致しまして色々至らぬ点も多く会も必ずしも盛況とは申されませんでした。茲に不手際をお詫び致しますと共に、Samideano 諸氏の相交らざる御協力に厚く御禮申し上げます。

北海道大会申込者及参加者

(氏名)	(住所)	(出欠)	(種別)
新田 為男	夕張郡由仁町字三川	出	一般
泉 谷 昭典	" " 字川端	"	"
林 喜久治	滝川町字泉町6区	"	"
藤 原 信吉	函館市港町鉄道敷地	"	"
仁 保 武親	" " 宮前町19	"	学生
梶 生 育保	札幌市北12条西14	"	一般
近 里 静彦	" " 南16条西5	"	学生
アリマヨシハル	" " 北24条西9	"	一般
相 沢 治雄	" " 菊水東町7	"	"
高 橋 要一	" " 大通東5の1	"	"
土 田 茂幸	小樽市清水町34	"	"
佐 藤 黄雄	" " 遊員学校内	"	学生
境 宮 夫	" " "	"	"
江 口 音吉	" " 興次町4の22	"	一般
井 上 武次	" " 緑町1の23	欠	"
山 賀 勇	" " 石園町東3の11	出	"
高 橋 達治	" " 桜町307	"	"
柳 上 幸子	" " 手宮町2の11	"	学生
早 川 昇	" " 緑町2の2	"	一般
早 坂 基	" " 住之江町9の8	"	"

前田
山本
藤井
横山

会
一般
学生

寄
藤原信
札幌工
山賀

(註)

前田 幸一	小樽市花園町西2の17	出	一般
山本 昭二郎	清水町 34	又	"
藤井 沢司	岩見沢市 4茶田 15	又	"
横山 良勝	小樽市梅ヶ枝町 44	出	"

第19回全道大会收支決算表

(収 入)	(支 出)																																														
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">会 費</td> </tr> <tr> <td>一 般</td> <td>$250^{\text{円}} \times 19^{\text{人}} = 4750^{\text{円}}$</td> </tr> <tr> <td>学 生</td> <td>$100^{\text{円}} \times 5^{\text{人}} = 500^{\text{円}}$</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">5,250^{\text{円}}</td> </tr> <tr> <td colspan="2">寄 附</td> </tr> <tr> <td>藤原信吉氏</td> <td>50^{\text{円}}</td> </tr> <tr> <td>札幌工学生会</td> <td>500^{\text{円}}</td> </tr> <tr> <td>山賀博士</td> <td>1500^{\text{円}}</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">2,050^{\text{円}}</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">7,300^{\text{円}}</td> </tr> </table>	会 費		一 般	$250^{\text{円}} \times 19^{\text{人}} = 4750^{\text{円}}$	学 生	$100^{\text{円}} \times 5^{\text{人}} = 500^{\text{円}}$		5,250^{\text{円}}	寄 附		藤原信吉氏	50^{\text{円}}	札幌工学生会	500^{\text{円}}	山賀博士	1500^{\text{円}}		2,050^{\text{円}}		7,300^{\text{円}}	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>査食代</td> <td>1,600^{\text{円}} (80^{\text{円}} \times 20^{\text{人}})</td> </tr> <tr> <td>写真代</td> <td>460 (20^{\text{円}} \times 23^{\text{人}})</td> </tr> <tr> <td>菓子代</td> <td>690 (30^{\text{円}} \times 23^{\text{人}})</td> </tr> <tr> <td>お茶代</td> <td>150 (100^{\text{人}})</td> </tr> <tr> <td>プログラム代</td> <td>100 (2^{\text{円}} \times 50^{\text{人}})</td> </tr> <tr> <td>バス代</td> <td>300 (15^{\text{円}} \times 20^{\text{人}})</td> </tr> <tr> <td>大会案内 } 通信費 }</td> <td>1,016 (8^{\text{円}} \times 127^{\text{人}})</td> </tr> <tr> <td>会場費</td> <td>1,000 (会場謝礼)</td> </tr> <tr> <td>大会報告印刷費</td> <td>150 (5^{\text{円}} \times 30^{\text{人}})</td> </tr> <tr> <td>大会報告通信費</td> <td>250 (10^{\text{円}} \times 25^{\text{人}})</td> </tr> <tr> <td>権 費</td> <td>70 (1.7^{\text{円}} \times 40^{\text{人}})</td> </tr> <tr> <td>剰余金</td> <td>1,514 (註)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">7,300^{\text{円}}</td> </tr> </table>	査食代	1,600^{\text{円}} (80^{\text{円}} \times 20^{\text{人}})	写真代	460 (20^{\text{円}} \times 23^{\text{人}})	菓子代	690 (30^{\text{円}} \times 23^{\text{人}})	お茶代	150 (100^{\text{人}})	プログラム代	100 (2^{\text{円}} \times 50^{\text{人}})	バス代	300 (15^{\text{円}} \times 20^{\text{人}})	大会案内 } 通信費 }	1,016 (8^{\text{円}} \times 127^{\text{人}})	会場費	1,000 (会場謝礼)	大会報告印刷費	150 (5^{\text{円}} \times 30^{\text{人}})	大会報告通信費	250 (10^{\text{円}} \times 25^{\text{人}})	権 費	70 (1.7^{\text{円}} \times 40^{\text{人}})	剰余金	1,514 (註)		7,300^{\text{円}}
会 費																																															
一 般	$250^{\text{円}} \times 19^{\text{人}} = 4750^{\text{円}}$																																														
学 生	$100^{\text{円}} \times 5^{\text{人}} = 500^{\text{円}}$																																														
	5,250^{\text{円}}																																														
寄 附																																															
藤原信吉氏	50^{\text{円}}																																														
札幌工学生会	500^{\text{円}}																																														
山賀博士	1500^{\text{円}}																																														
	2,050^{\text{円}}																																														
	7,300^{\text{円}}																																														
査食代	1,600^{\text{円}} (80^{\text{円}} \times 20^{\text{人}})																																														
写真代	460 (20^{\text{円}} \times 23^{\text{人}})																																														
菓子代	690 (30^{\text{円}} \times 23^{\text{人}})																																														
お茶代	150 (100^{\text{人}})																																														
プログラム代	100 (2^{\text{円}} \times 50^{\text{人}})																																														
バス代	300 (15^{\text{円}} \times 20^{\text{人}})																																														
大会案内 } 通信費 }	1,016 (8^{\text{円}} \times 127^{\text{人}})																																														
会場費	1,000 (会場謝礼)																																														
大会報告印刷費	150 (5^{\text{円}} \times 30^{\text{人}})																																														
大会報告通信費	250 (10^{\text{円}} \times 25^{\text{人}})																																														
権 費	70 (1.7^{\text{円}} \times 40^{\text{人}})																																														
剰余金	1,514 (註)																																														
	7,300^{\text{円}}																																														

(註) 支出の部「剰余金」1,514^{\text{円}}は、次期大会予算の一部に充当する為札幌に引継ぎます。

北海道エスペラント連盟名簿

N-ro 11 (14名), N-ro 12 (42名) ニツヅク

浪越春夫	札幌市南5条西3丁目
小田島 繁	上磯郡上磯町久根別7
葛西 藤三郎	札幌市伏見町 1512
森谷 赤雄	札幌市南7条西15丁目
高村 光東	小樽市花園町東3丁目9

東 計 62 名

会員住所変更

巖田ミチ子	小樽市張碓町 171
河野 千工子	“ 録町2丁目27
池島 与三吉	旭川市拓銀北4条支店內
渡 辺 正	岩見沢市宮下町3丁目
新井 静太郎	旭川市 旭川野切基準監督署内
大木 克己	東京都目黒区中根 79

Kara Sinjoro,

Tokio; 28/VI/1955

Jam pasis multaj tempoj post kiam mi petis vin ke korespondanton deziri, kaj nun mi povis havi du bonajn amikojn mi elkore dankas por via bonkoreco.

Ankoraŭ nun, mi devas informi al vi kun granda gojo ke mi povis forlasi la hospitalon en la 16-a de ĉi monato. Kaj nun mi estas sufiĉe ripozanta en kara mia domo.

Preĝante vian feliĉon.

(註) F-100
は北道

玩 残 (6)

收 入

会 費 100

寄 附 100

(残 高)

742/

発行

発行人

会 費

Restas Sincere
via Etuko Kamiya

(註) F-ino Kamiya-Etuko は本誌 N-ro 12 に広告した称にかねてから北海道の samideano と文通による交歓を希望していた。

HEL 収支報告

先 残 (6月17日現在)

7,421^円

収 入

会 費 1年分 200^円×4 = 800^円

“ 半年分 100^円×5 = 1500^円

寄 附 (小田島) 100^円

小 計 2400^円

支 出

No.12 印刷代 3,000^円

送 料 (仮払) 1,000^円

振 替 料 70^円

4,070^円

(残 高)

$7,421^円 + 2,400^円 - 4,070^円 = 5,751^円 (9月20日現在)$

LEONTODO N-ro 13

発 行 1935. 10. 15

発行人 北海道エスプラント連盟
札幌市北1条東9丁目 坂下清一方

会 費 年 額 200 円 (H.E.L会費)

(年4回発行配本)